

2012年度チョコフスキー賞受賞

グリゴリー・オステル来日シンポジウム

JAPAN FOUNDATION



こどもの文学？



おとなの文学？

～ロシアの児童文学作家グリゴリー・オステルを迎えて

子供が読むから児童文学っていうのか？

子供のための文学だから児童文学っていうのか？

同じ作品でも子供の楽しみ方と大人の楽しみ方があるのか？

そもそも、大人の文学と子供の文学の違いってどこにあるのか？

日本と世界（ロシア、アメリカ etc.）で子供の文学に違いはあるのか？……

スペシャルゲストのグリゴリー・オステルは、ロシアでは幼稚園の子供から知的な大人まで、幅広い世代に読まれている、もっとも人気のある児童文学作家の一人です。いたずらな子供の目を借りて大人をとことんからかうオステルの作風はかなりブラック。詩や学術書という「高尚な」形式とナンセンスな内容の対比によって生まれるユーモラスな味わいが魅力の『悪い子のすすめ』や「教科書シリーズ」など、形式との戯れを利用するモダニズムの手法は、児童書の枠を大きくはみだしています。

児童文学の作家であり評論家でもあるひこ・田中さん、アメリカ文学の翻訳家で児童書の翻訳も数多く手がける青山南さん、ロシアだけでなく日本と世界の文学なんでも知っている沼野充義さん、そしてオステルの作品の翻訳者の毛利公美さんを迎えて、オステルの作品を日本や世界の児童文学のなかでどう位置付けるかを通して、「児童文学」というカテゴリー設定自体に疑問を投げかけ、「大人の文学」「子供の文学」に境界は存在するのか？を考えます。



主催 国際交流基金

共催 東京大学文学部現代文芸論研究室（科研費研究プロジェクト基盤研究（A）越境と変容—グローバル化時代におけるスラヴ・ユーラシア研究の超域的枠組みを求めて） 協力 東宣出版



日時／2013年12月21日（土）15:00～17:00

会場／国際交流基金2階 JFIC ホール [さくら]

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-4-1

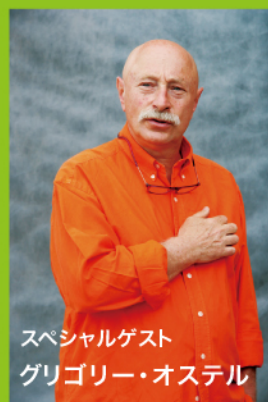


当日先着順・入場無料・予約不要 ※受付開始時間 14:30

問い合わせ先

国際交流基金（03-5369-6071 担当 高口）

東京大学文学部現代文芸論研究室（03-5841-7955）



スペシャルゲスト
グリゴリー・オステル

パネリスト

ひこ・田中（児童文学作家、批評家）

青山 南（翻訳家、エッセイスト）

司会

沼野 充義（ロシア東欧文学研究者）

進行

毛利 公美（オステル翻訳者）



こどもの文学？ おとなの文学？

～ロシアの児童文学作家グリゴリー・オステルを迎えて～

グリゴリー・オステル：1947年旧ソ連オデッサ（現ウクライナ）生まれ。ゴリキー文学大学卒業。ソ連時代はアニメのシナリオなどを数多く手がけた。ペレストロイカ以後、風刺精神にあふれ、それまでの「良い子を描く児童文学」という常識をくつがえした『悪い子のすすめ』で一躍有名になった。そのほかの作品に、算数の文章問題をもじった『問題集』、大人の世界を子供の眼で面白おかしく描いた『パパママ研究』、自在な筋の発展から「ロシア児童文学初のハイパーテキスト」とも言われる長編『いろいろのはなし』など。2002年ロシア連邦国家賞受賞、ロシア連邦功労芸術家。2012年にはすぐれた児童文学作家に与えられるチュコフスキー賞を受賞。現代ロシアでもっとも人気のある児童文学作家の一人である。

オステル公式ホームページ（日本語）

<http://tousen.co.jp/oster>（2013年12月開設予定）



ひこ・田中（ひこ・たなか）：児童文学作家・批評家、『児童文学書評』主宰。『お引越し』で椋鳩十児童文学賞。『ごめん』で産経児童出版文化賞JR賞受賞。絵本『ひつきむし』、幼年童話『レッツ』シリーズ、評論書『大人のための児童文学講座』なども出している。読売新聞、朝日小学生新聞他で書評を担当。

青山 南（あおやま みなみ）：英米文学研究・翻訳家、エッセイスト、早稲田大学文化構想学部教授。アメリカ小説の翻訳と紹介を長年つづけてくるいっぽうで、レイン・スミス等、英米の絵本の翻訳を多数手がけてきた。「にげる！ にげる？」の翻訳で産経児童出版文化賞を受賞。



沼野 充義（ぬまの みつよし）：ロシア東欧文学研究・翻訳家、東京大学大学院人文社会系研究科教授。文芸評論も手広く手がけている。2002年『徹夜の塊 亡命文学論』でサントリー学芸賞受賞。2003年『ユートピア文学論 徹夜の塊』で読売文学賞受賞。

毛利 公美（もうり くみ）：ロシア文学研究・翻訳者、一橋大学ほか非常勤講師。ナポコフ論で博士号取得。共訳書にナポコフ『ナポコフ全短編』、アクーニン『アキレス 将軍暗殺事件』など。最近ではもっぱらオステルの作品の翻訳紹介ばかりしている。

関連イベント

ロシア・アニメーションの魅力

～シナリオライターとしてのオステル～

日時 2013年12月24日（火）19:00～21:00

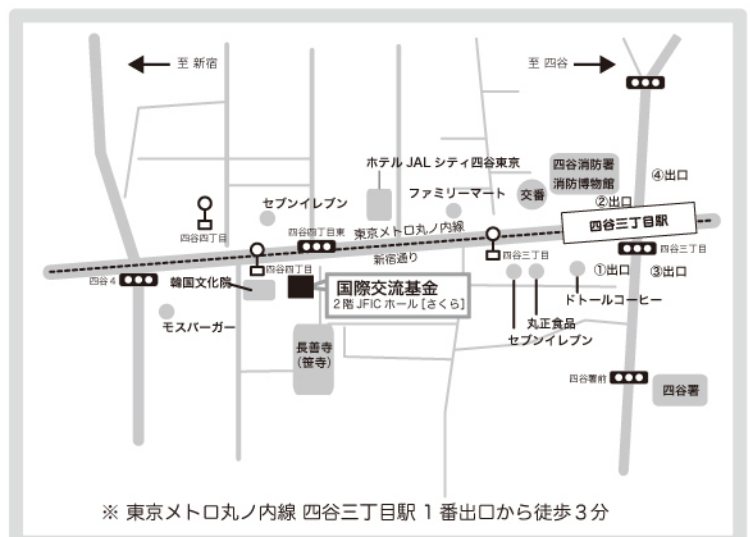
会場 神戸映画資料館

スペシャルゲスト グリゴリー・オステル

問い合わせ先

国際交流基金 tel: 03-5369-6071（担当：高口）

神戸大学国際文化学研究所 tel: 078-803-7441（楢岡求美）



※ 東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅 1番出口から徒歩3分